

1. 教科の目標

・造形的な能力を働かせるとともに、自ら作り出す喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てる。  
 ・材料などの特徴を捉え、想像力を働かせて主題の表し方を想像するとともに、美しさなどを考え、想像し、表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。  
 ・作品などを進んで鑑賞し、その良さや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にしようとする。

2. 到達目標

観点	造形への関心・意欲・態度	創造的な技能	発想や構想の能力	鑑賞の能力
目標	自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。	表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい	
4	自信をもって	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生で学習する図画工作のめあてを知り、その活動内容に興味をもつ。</li> <li>・材料の特徴を確かめながら、ゲームの内容や使う材料を決める。</li> <li>・粘土を加工していく操作から、思いついた形を作品にする。</li> </ul>	
5	ゲートぬけてゴールイン		
6	曲げてねじって		
7			
9	広がれアート		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋や廊下の案内板が設置されたところを想像しながら、関心をもって楽しくつくる。</li> <li>・絵が変わって動いていく面白さを味わう。</li> <li>・夢中になったときや心に残った場面などを思いだしながら、絵に表す楽しさを味わう。</li> <li>・物語から心を打たれた場面を構想する楽しさを味わう。</li> <li>・世の中にある不思議な見え方をするものに気づき、その面白さを楽しむ。</li> </ul>
10	アニメーションボックス		
11	こんなとき感じると思うこと		
12	心広がる場面		
1	きょうかしょびじゅつかん		
1	刷ったものに色をたすと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいことが伝わるように、白と黒、色のバランスなど、版の特色を生かして表す。</li> <li>・木のパーツを生かして、輪投げができるジグソーパズルを楽しむ。</li> <li>・1年間の作品をまとめる。</li> </ul>	
2	輪投げだワッ		
3	作品のまとめ		

4. 評価の観点・方法

・次のような方法で評価します。  
 製作態度 作品 作品紹介の内容 発言内容 アイデアスケッチ 機械の操作 展示方法 鑑賞カード

5. 保護者の皆様へ

図画工作では、学校で注文する教材に他に単元によっては、家庭にある廃材などを利用して創作活動にあたる場合があります。その際はご協力をお願いします。作品を家庭に子どもが持ってかえったときは、その作品の良さや子どもががんばったところを是非お話し下さい。